

令和2年7月17日  
中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## 伊勢湾に流れ込んだ大量の流木等漂流物を回収中 ～海洋環境整備船「白龍」で令和2年7月豪雨の漂流物を回収～

令和2年7月豪雨の影響で、河川から伊勢湾内に流木をはじめとした大量の漂流物があり、湾内の航行安全及び環境保全のために、海洋環境整備船「白龍」（名古屋港湾事務所所属）により回収を行っているところです。

「白龍」は中部地域の経済を支える港湾を利用する船舶や「食」を支える漁船などが漂流物により航行不能とならないよう、また湾内の環境が悪化しないよう、日々愛知県沖・三重県沖の数千ヘクタールの海域の点検・掃海を行っています。

漂流物の回収は7月7日から7月16日までの9日間の作業で昨年度の1年分の回収量（260m<sup>3</sup>）にほぼ近い242m<sup>3</sup>を回収しています。今後も降水による流木等漂流物の伊勢湾内への流入が懸念されるため、「白龍」は継続して海域の点検及び掃海を行っていきます。

（参考資料 - 1～3）

### 【参考】

「白龍」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域（約1,800km<sup>2</sup>）の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。（参考資料 - 4）

○配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

### ○問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

副所長 板生 考司(いたお たかし)

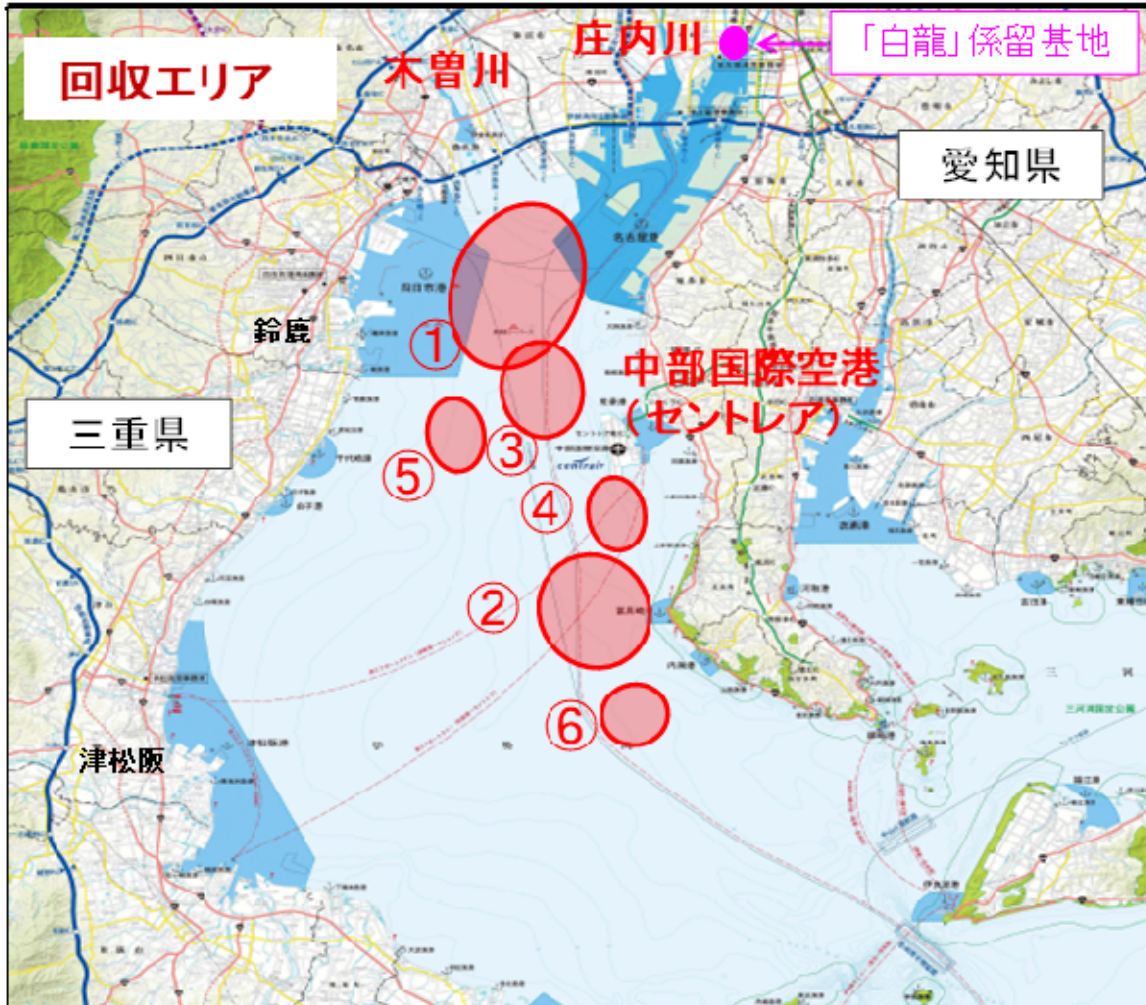
海洋環境・防災課長 伊藤 正人(いとう まさと)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

※写真の提供希望の場合もお知らせください

【海洋環境整備船「白龍」漂流物回収位置及び回収量】

○活動場所及び活動記録



日時	主な回収エリア	回収量				点検・掃海面積 (ha)	備考
		漂流物 ※流木以外 (m3)	流木 (m3)	合計 (m3)	(参考) 流木 本単位		
7月7日(火)	①	25	15	40	20	3,000	
7月8日(水)	①	25	15	40	20	3,000	
7月9日(木)	①	25	17	42	30	3,000	
7月10日(金)	②	25	20	45	30	6,000	
7月11日(土)	③	25	7	32	10	6,000	
7月12日(日)	④	0	13	13	20	8,000	
7月13日(月)	②,⑤	1	6	7	4	7,000	
7月15日(水)	①	0	20	20	40	3,000	
7月16日(木)	⑥	1	2	3	6	10,000	※速報値
合計		127	115	242	180	—	
		242					

※7/14は荒天のため休船

## 参考資料－２

### 【活動写真】



漂流物の塊に回収に向かう「白龍」(7月10日)



「白龍」のクレーンによる流木の回収作業  
(7月10日)



潮目に集まる漂流物を船体でまたぎ、すくい取って回収する「白龍」(7月11日)



「白龍」のデッキに積まれた流木(7月10日)



「白龍」のスキッパー(※写真中央黄色のかご)により海面からすくい取られた流木等  
(7月11日)

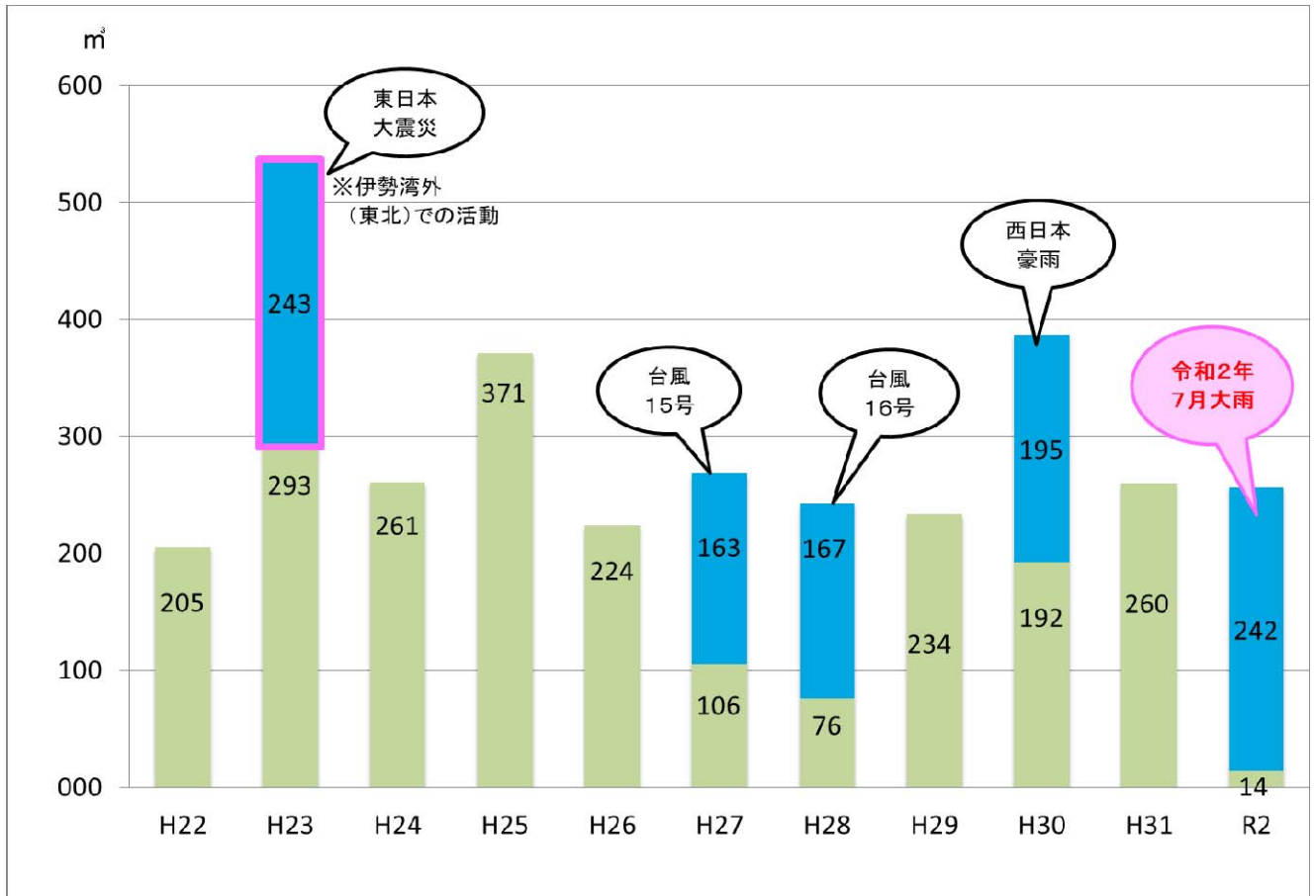


(参考) 潮目に集まる漂流物(7月11日)

【参考 年度別回収量】

(凡例)

- 災害、台風、豪雨等時の回収量
- 通常時の回収量



## 海洋環境整備船 「白龍」の概要

### 「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面の漂流物(浮遊ゴミ)の回収作業を行う
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業を行う
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施する
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開を行う



担務海域  
伊勢湾・三河湾 (1,800km<sup>2</sup>)

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属

諸元  
全長 33.5m  
全幅 11.6m  
総トン数198t



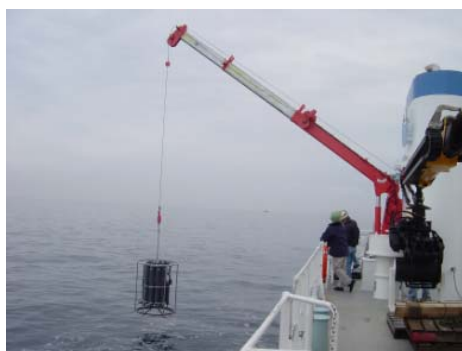
流木回収状況



漂流物回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ